

令和 5 年 9 月 19 日
健康福祉常任委員会資料

県の出資等に係る法人の経営状況等について

- 1 株式会社 ひょうご粒子線メディカルサポート P. 2

病 院 局

株式会社 ひょうご粒子線メディカルサポート

I 総括

法人名 株式会社ひょうご粒子線メディカルサポート		所在地	たつの市新宮町光都1-2-1	
設立年月日	平成23年11月1日	法人所管課	病院局経営課	
設立目的 県立粒子線医療センターが有する専門性の高い治療ノウハウ等（知的財産）を県から包括的・継続的に提供を受け、新規粒子線医療施設に対する立上げ支援等を実施することにより、侵襲性が低くQOL（生活の質）の高い粒子線医療の国内外における普及発展に寄与する。				
資本金総額		9,090,000円		
うち本県出資金の額		7,200,000円（比率 79.2%）		
主な出資団体		富士フィルム医療ソリューションズ（株）（180,000円）		
役員 の 状 況	役職員数	役員数 6人 常勤 1人（うち県派遣 0人、その他 1人） 非常勤 5人（うち県派遣 4人、その他 1人） 社員数 4人（うち県派遣 1人、その他 3人）		
		職・氏名		常勤・非常勤の別
	代表者	代表取締役社長	秋山徹志	非常勤
	その他の役員	副社長取締役	沖本智昭	非常勤
		常務取締役	須賀大作	常勤
		取締役	天羽由浩	非常勤
		監査役	梅田孝雄	非常勤
	監査役	楡井義丈	非常勤	
組織概要		<pre> graph TD A[代表取締役社長] --- B[副社長取締役] B --- C[常務取締役] C --- D[取締役] C --- E[支援企画課 (2名)] C --- F[総務課 (2名)] A --- G[監査役] </pre>		

（令和5年8月31日現在）

II 決算状況について

1 令和4年度事業の概要

(1) 総括的事項

令和4年度の保険適用拡大、技術革新による治療装置の小型化など、粒子線治療は発展を続けており、新たな治療施設を作る医療機関も見込まれることから、粒子線治療装置メーカーへのコンサルティングや、自治体、大学病院等への提案活動を続けている。

また、粒子線医療センターの治療ノウハウをもとに開発を進めたCT画像自動輪郭システム「Ai-Seg」の薬事承認取得準備を進め、翌年度以降の収益力向上の下地を作った。

(2) 事業実績等具体的事項

ア 支援案件確保に向けた取組状況

ファイナンス事業者とコンサルティング契約を締結し、粒子線治療機器メーカーおよび施設建屋設計施工業者と連携を図りながら、装置から建屋、コンサル、人材育成、ファイナンスまでをワンパッケージ化し、粒子線治療導入を検討している施設に対し提案活動を行った。

イ 粒子線治療装置メーカーへの支援状況

国内外における粒子線治療装置メーカーへのコンサルティングを実施し、粒子線治療装置の開発や普及に向けた支援を行った。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中国メーカーとのコンサル契約が一旦休止となり、令和4年度収益に大きく影響した。

ウ 経営状況

上述の中国メーカーとの契約休止が響き、会社成立後初の当期赤字となった（当期純損失8,448,477円）。

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
<u>流動資産</u>	<u>129,826,516</u>	<u>147,355,954</u>	<u>△17,529,438</u>
現金及び預金	92,436,044	108,233,233	△15,797,189
売掛金	5,200,000	5,200,000	0
商品・製品	29,573,236	29,573,236	0
貯蔵品	206,125	207,177	△1,052
立替金	8,670	16,835	△8,165
未収入金	280,450	0	280,450
仮払金	364,200	2,027,800	△1,663,600
前払費用	1,800,673	1,800,673	0
未収消費税等	0	328,200	△328,200
貸倒引当金	△32,882	△31,200	△1,682
<u>固定資産</u>	<u>17,531,795</u>	<u>10,997,810</u>	<u>6,533,985</u>
<u>有形固定資産</u>	<u>441,023</u>	<u>957,138</u>	<u>△516,115</u>
建物附属設備	8,998	125,296	△116,298
工具器具備品	432,025	831,842	△399,817
<u>無形固定資産</u>	<u>12,336,440</u>	<u>6,904,309</u>	<u>5,432,131</u>
建設仮勘定	12,336,440	6,904,309	5,432,131
<u>投資その他の資産</u>	<u>4,754,332</u>	<u>3,136,363</u>	<u>1,617,969</u>
退職給付引当預金	4,754,332	3,136,363	1,617,969
資産の部合計	147,368,311	158,353,764	△10,985,453
<u>流動負債</u>	<u>6,004,139</u>	<u>10,159,421</u>	<u>△4,155,282</u>
未払金	1,071,802	5,829,157	△4,757,355
未払法人税等	36,000	36,000	0
未払費用	452,509	341,750	110,759
預り金	729,531	1,751,206	△1,021,675
賞与引当金	2,267,897	2,201,308	66,589
未払消費税等	1,446,400	0	1,446,400
<u>固定負債</u>	<u>4,754,277</u>	<u>3,135,971</u>	<u>1,618,306</u>
退職給付引当金	4,754,277	3,135,971	1,618,306
負債の部合計	10,758,416	13,295,392	△2,536,976
<u>株主資本</u>	<u>136,609,895</u>	<u>145,058,372</u>	<u>△8,448,477</u>
資本金	9,090,000	9,090,000	0
<u>利益剰余金</u>	<u>127,519,895</u>	<u>135,968,372</u>	<u>△8,448,477</u>
その他利益剰余金	127,519,895	135,968,372	△8,448,477
繰越利益剰余金	127,519,895	135,968,372	△8,448,477
純資産の部合計	136,609,895	145,058,372	△8,448,477
負債及び純資産合計	147,368,311	158,353,764	△10,985,453

損益計算書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<u>営業費用</u>	<u>43,368,498</u>	<u>営業収益</u>	<u>34,894,165</u>
販売費及び一般管理費	43,368,498	売上高	34,894,165
		<u>営業外収益</u>	<u>66,747</u>
		受取利息	634
		雑収入	66,113
		<u>特別利益</u>	<u>31,200</u>
		貸倒引当金戻入益	31,200
<u>法人税、住民税及び事業税</u>	<u>72,091</u>	<u>当期純損失</u>	<u>8,448,477</u>
合計	43,440,589	合計	43,440,589

財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>	<u>129,826,516</u>	<u>流動負債</u>	<u>6,004,139</u>
現金及び預金	92,436,044	未払金	1,071,802
売掛金	5,200,000	未払法人税等	36,000
商品・製品	29,573,236	未払費用	452,509
貯蔵品	206,125	預り金	729,531
立替金	8,670	賞与引当金	2,267,897
未収入金	280,450	未払消費税等	1,446,400
仮払金	364,200	<u>固定負債</u>	<u>4,754,277</u>
前払費用	1,800,673	退職給付引当金	4,754,277
貸倒引当金	△32,882		
<u>固定資産</u>	<u>17,531,795</u>		
<u>有形固定資産</u>	<u>441,023</u>		
建物附属設備	8,998		
工具器具備品	432,025		
<u>無形固定資産</u>	<u>12,336,440</u>		
建設仮勘定	12,336,440		
<u>投資その他の資産</u>	<u>4,754,332</u>		
退職給付引当預金	4,754,332		
資産の部合計	147,368,311	負債の部合計	10,758,416
		差引純財産	136,609,895

Ⅲ 事業計画について

1 令和5年度事業の概要

(1) 総括的事項

CT画像自動輪郭描画システム「Ai-Seg」の薬事承認を本年6月に取得完了した。医療機器メーカーの販売網も活用しながら医療機関への販売に努める。

また、国内外含めた粒子線治療装置メーカーへのコンサルティングを実施するとともに、粒子線医療の普及発展に資する調査研究事業の受注に努める。また、新規コンサルティング案件確保のために構築した事業フレームのもと、幅広く支援先の開拓を図る。

(2) 具体的事項（事業計画等）

ア 粒子線治療装置の開発・普及に係るコンサルティングの推進

国内外における粒子線治療装置メーカーへのコンサルティングを実施し、粒子線治療装置の開発や普及に向けた適切な支援を行う。

イ 支援案件の確保に向けた提案活動の推進

粒子線治療導入検討施設に対し、粒子線治療装置メーカーや設計・建設会社と連携し、専門的な観点から臨床現場ニーズに即した提案活動を推進し、新規支援案件の獲得に努める。

ウ 新技術の開発支援

粒子線治療の更なる発展を図るため、県知財と当社が有する知見・ノウハウを活用し、装置メーカー等との技術開発協力を推進する。

また、上述のとおり「Ai-Seg」の販売活動を積極的に行う。

2 令和5年度予算

(収入)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 A	前年度当初予算額 B	増減 (A-B)
売 上 高	73,600	49,600	24,000
合 計	73,600	49,600	24,000

(支出)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 A	前年度当初予算額 B	増減 (A-B)
売 上 原 価	4,000	20	3,980
販売費及び一般管理費	50,300	49,500	800
法人税等	6,562	27	6,635
当期収支差額	12,738	53	12,685
合 計	73,600	49,600	24,000

令和 5 年 9 月 19 日
健康福祉常任委員会資料

9 月定例会提出予定議案について

- 1 令和 4 年度兵庫県病院事業会計決算の認定・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2

病 院 局

1 令和4年度兵庫県病院事業会計決算の認定

令和4年度兵庫県病院事業会計決算について、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第4項の規定により、認定を求める。

(1) 収益的収入及び支出 (単位：円)

収益的収入	163,438,886,269
収益的支出	171,978,663,837
差 引	△8,539,777,568

(2) 資本的収入及び支出 (単位：円)

資本的収入	20,147,586,799
資本的支出	23,615,633,138
差 引	△3,468,046,339